記者発表資料

平成２４年１月１３日
東 北 地 方 整 備 局

入札監視委員会第二部会第３回定例会議（１２月　９日）の審議概要について

～抽出案件６件を審議、意見の具申・勧告はなし～

平成２３年度東北地方整備局入札監視委員会第二部会第３回定例会議が、１２月９日（金）、東北地方整備局で開催されました。

定例報告では、①工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等・物品の製造等の発注案件、②指名停止措置の運用状況、について報告を行いました。

議事では、委員により抽出された案件６件の審議が行われ、委員からの意見の具申・勧告事項はありませんでした。

○審議概要は別紙のとおりです。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先	
国土交通省　東北地方整備局 仙台市青葉区花京院一丁目１番２０号	TEL (022)716-0013（ダイヤルイン）
契 約 管 理 官	佐藤（さとう）　豊（ゆたか）（内線６２２１）
経理調達課課長補佐	本間（ほんま）　和彦（かずひこ）（内線６５５４）

東北地方整備局　入札監視委員会（第二部会）審議概要

開催日及び場所		平成２３年１２月　９日（金）　東北地方整備局会議室	
委員		部会長　真野　明　（東北大学大学院工学研究科教授） 部会長代理　貝山　道博　（山形大学人文学部教授） 委　員　齊藤　幸治　（弁護士）	
審議対象期間		平成２３年　７月　１日～平成２３年　９月３０日	
総抽出案件		総件数　６件	
工事	抽出案件	件数　３件	
	一般競争（WTO対象）	１件	
	一般競争（WTO対象外）	１件	
	工事希望型競争	０件	
	通常指名競争（港湾土木）	１件	
	通常指名競争（空港等土木）	０件	
	通常指名競争（港湾・空等等土木以外）	０件	
	随意契約	０件	
建設コンサルタント業務等		２件	
役務の提供等及び物品の製造等		１件	

委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり

委員会による意見の具申又は勧告の内容	本日の審議結果について、意見の具申又は勧告事項はありません。 調査基準価格を大幅に下回る金額で契約している業務については、今後とも品質管理に目を配って頂きたい。

抽　出　案　件　工　事　概　要　書

	工　事　名	入札・契約方式	工事場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	参加 （指名） 業者数
1	八戸港八太郎地区防波堤（北）（災害復旧） ケーソン撤去外工事	一般競争 （ＷＴＯ対象）	八戸市八戸港港内	1,678,950 １回目落札	5者	5者
2	仙台塩釜港仙台港区中野地区岸壁（－１２ｍ） （災害復旧）舗装外工事	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	仙台市宮城野区 港４丁目	79,800 １回目落札	1者	1者
3	仙台塩釜港外潮位観測施設復旧工事	工事希望型以外 の指名競争	仙台塩釜港（仙台港区）、久慈港、石巻港	76,650 ２回目落札	－	10者

抽出案件建設コンサルタント等概要書

	業　務　名	入札・契約方式	履行場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	参加 （指名） 業者数
4	八戸港八太郎地区流況外調査	簡易公募型競争	八戸市八戸港港内	8,400 １回目落札	8者	8者
5	釜石港湾事務所外庁舎復旧実施設計	簡易公募型競争	－	13,020 １回目落札	1者	1者

抽　出　案　件　役　務　及　び　物　品　概　要　書

	業　務　名	入札・契約方式	納入場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	参加 （指名） 業者数
6	低公害小型乗用自動車購入	一般競争	釜石港湾事務所、 久慈港出張所	9,080 １回目落札	5者	5者

別　紙

NO. 1

	意見・質問	回　　答
1-1	定例報告 「対象期間における発注案件について」 ・特になし	
1-2	定例報告 「指名停止措置の運用状況」 ・独占禁止法違反により課徴金納付命令を受けた者が、５者を限度に課徴金減免制度の適用を受けられることとなっているが、指名停止を行う場合、減額・免除の違いは反映されるのか。	・課徴金減免制度の適用を受けて、課徴金を減免された者を指名停止する場合、減額率の違いがあっても期間短縮は同じ措置を行うこととなっている。
2-1	審　　議 一般競争 「八戸港八太郎地区防波堤(北)(災害復旧)ケーソン撤去外工事」 ・調査基準価格を下回った全ての者が、施工体制確認のための追加資料の提出を辞退し、無効となっているが、このようなケースは多いのか。 　また、追加資料を提出しない場合ペナルティはあるのか。 ・落札率が９０．６４％だが、東日本大震災以前の同規模の工事の落札率はどの程度だったのか。	・昨年度までは追加資料が提出された工事もあったが、追加資料を提出しても落札できる可能性が低いことなどから、労力のかかる追加資料提出を辞退するケースが多くなっている。また、追加資料を提出しなくてもペナルティは無い。 ・概ね９０％程度である。
2-2	一般競争 「仙台塩釜港仙台港区中野地区岸壁(－１２ｍ)(災害復旧)舗装外工事」 ・工事の内容は特別なものではないと思うが、１者しか入札に参加しなかった理由は何か。 ・予定価格の事前公表はしていないのか。 ・東日本大震災以前と現在で予定価格の定め方に違いはあるのか。災害復旧工事が本格化すれば、労務費や資材の価格が上昇すると思うが、考慮されるのか。 ・落札率がかなり高いが、どのような理由が考えられるか。	・入札説明書を入手し入札に参加しなかった数者にヒアリングをしたところ、他機関の災害復旧工事の発注も本格化してきており、技術者の配置ができなかったため、入札に参加しなかったと聞いている。 ・事後公表を行っている。 ・予定価格の定め方に違いは無い。資材価格等については、実態調査を行っており、積算に反映している。 ・本工事は、工種的には単純なものであるが、工事規模がそれほど大きくなく、かつ施工区域内にクレーン基礎があり効率的な作業が難しい工事であるため、入札参加者は利益率が低い工事と判断し、入札額が高止まりとなり、落札率が高くなったのではないかと考えている。
2-3	指名競争入札 「仙台塩釜港外潮位観測施設復旧工事」 ・落札者以外の入札額がかなり高いが、どのような理由が考えられるか。 ・３カ所の潮位観測施設の復旧だが、分割せず１件で発注した理由は何か。	・通常はほとんど発注しない特殊な内容の工事で、施工箇所も３カ所に跨がっており、それほど魅力のある工事内容ではなかったことから、受注意欲の差が入札額の差になったものと考えている。 ・早急に復旧する必要があること、震災関連工事の発注も本格化し技術者の確保が厳しくなる状況であったことから、１件として発注した。

別　　紙

	意見・質問	回　　答
2-4	審　　議 簡易公募型競争入札 「八戸港八太郎地区流況外調査」 ・落札率がかなり低いが、理由は何か。 ・予定価格が高すぎると言うことは無いのか。	 ・入札金額が調査基準価格を下回ったため、低入札価格調査を実施したところ、当該入札者は、受注競争が厳しく受注機会が少ない状況であったため、自社保有機器の活用、諸経費低減等最大限の努力をして応札したとの回答があった。 ・他の参加者の入札価格を考慮すると、落札者の受注意欲が高かったことが落札率が低い原因であり、予定価格は適正な金額であると考えている。
2-5	審　　議 簡易公募型競争入札 「釜石港湾事務所外庁舎復旧実施設計」 ・落札率がかなり低いが、理由は何か。 ・入札参加者が１者と少ないが、理由は何か。 ・要件設定が厳しいということはないのか。 ・調査基準価格の設定趣旨から考えれば、調査基準価格の半額程度で契約するということは、品質確保の観点から、望ましくないのではないか。 　最低制限価格の設定を行うことも考えるべきではないか。	 ・入札金額が調査基準価格を下回ったため、低入札価格調査を実施したところ、当該入札者は国土交通省関係の受注実績が少ないため、受注実績確保の観点から、経費節減等最大限の努力をして応札したとの回答があった。 ・入札説明書を入手し入札に参加しなかった者にヒアリングしたところ、東日本大震災に伴い民間等での新営案件も多数発注されており、技術者に余裕がないため参加を見送ったと聞いている。 ・要件設定は可能な限り緩和し、参加可能者は７２者いることを確認しており、要件設定が厳しいとは考えていない。 ・国の会計制度上、最低制限価格の設定は行えないことになっている。なお、今後は業務についても工事と同様に履行体制確認型総合評価落札方式の試行を実施することとしており、新たな品質確保対策を講じることとしている。
2-6	審　　議 一般競争 「低公害小型乗用自動車購入」 ・納入場所が岩手県内だが、岩手県の業者が参加していないのは何故か。 ・落札率は８０％程度だが、自動車購入の落札率は同程度なのか。 ・本件のように出先事務所が所有している車を、本局でまとめて購入すれば安く購入できるのではないか。	 ・入札公告は当局及び岩手県の出先事務所のホームページで公開しており、岩手県の業者が参加しなかった理由については、当局も把握できていない。 ・同時期に、別件で自動車購入を行っているが、同程度の落札率となっている。 ・本件は震災で被災した車両の代替車の購入であり、まとめての購入となったが、通常は車の購入時期の違いから買い替え時期も異なるため、まとめて購入することは難しいと考えている。なお、別件で自動車1台を購入しているが、落札率は同程度となっている。